公益財団法人　日本ハンドボール協会 編
平成30年3月1日発行（毎月１回１日発行）　通巻577号

ハンドボール

3
MAR.2018
No.577







●第18回男子アジア選手権

公益財団法人　日本ハンドボール協会



世界が驚く、
物流をつくろう。
東京2020大会を、物流から支えていきます。
TOKYO 2020
ヤマトホールディングス
TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES
東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナー
詳しくはこちら http://www.yamato-hd.co.jp/tokyo2020/
世界が驚く、物流をつくろう。
検索

プレミアム・リゾートという選択

一戸建て住宅型有料老人ホーム





メディケアサポートHABA

2017年12月伊豆高原にオープン

12/1(金)より予約申し込み開始！

☎ 0557-51-7887 (担当 土屋・はば)

私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方へ不動産を用いたライフプランをご提案しております。自社ブランドである『YURIKA ROSE』(ユリカ ロゼ)シリーズや、社有物件も展開！
待望の2020年『東京オリンピック』まで、いよいよカウントダウンが始まりました。
弊社も選手達と共に邁進していきますので、どうぞよろしくお願い致します。



私達、株式会社ユリカコーポレーションは
女子ハンドボールを応援しています!!

株式会社ユリカコーポレーション
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2 神田セントラルプラザ1202
TEL：03-3525-8986 / FAX：03-5295-8188　http://yurika-co.jp/


５年連続、５つ星。
みなさまの日頃のご搭乗に、心より感謝申し上げます。
わたしたちは日本で唯一の５スター エアラインです。
おかげさまでANAは、2017年も英国のエアライン格付機関SKYTRAX社が主宰するエアライン・スターランキングで世界最高評価「5 STAR」を獲得いたしました。お客さまへの感謝の気持ちと日本で唯一の５スター エアラインとしての誇りを翼に乗せて、これからもみなさまを快適な空の旅にご案内いたします。
ANA Inspiration of JAPAN
A STAR ALLIANCE MEMBER
www.ana.co.jp
5 STAR AIRLINE
SKYTRAX
※2017年3月現在

ハンドボール 3月号 No.577



【表紙の写真】第 18 回男子ハンドボールアジア選手権（写真提供：スポーツイベント社）

CONTENTS

がんばれハンドボール 20 万人会「サポート会員」１月入会・継続会員

【岩手】多田和生**【千葉】**窪田　優、山田友美**【神奈川】**生熊健二**【新潟】**遠藤正伸**【愛知】**遠藤正伸、池宮城正吉、大石　遥**【京都】**廣瀬佳代**【大阪】**桑原あけみ**【岡山】**奥埜美峰、奥埜啓子

次号４月号（No. 578）は４月１日発行予定です。



第18回男子アジア選手権

開催期間：2018年1月18日～1月28日
開 催 地：韓国　水原市（Suwon）



写真提供：スポーツイベント社

最終成績

優勝	カタール	8位	オマーン
2位	バーレーン	9位	中国
3位	韓国	10位	ウズベキスタン
4位	サウジアラビア	11位	オーストラリア
5位	イラン	12位	インド
6位	日本	13位	バングラディッシュ
7位	UAE	14位	ニュージーランド

選手団名簿

役職	氏名	所属
チームリーダー	田口 隆	(公財)日本ハンドボール協会
チームマネージャー	酒巻 清治	(公財)日本ハンドボール協会
ヘッドコーチ	ダグル シグルドソン	(公財)日本ハンドボール協会
コーチ	舎利弗 学	(公財)日本ハンドボール協会
GKコーチ	北林 健治	(公財)日本ハンドボール協会･宮崎県立都城工業高校
アシスタントチームマネージャー	吉村 晃	(公財)日本ハンドボール協会･(株)豊田合成
ドクター	沖本 信和	(公財)日本ハンドボール協会･沖本クリニック
トレーナー	赤尾 和彦	(公財)日本ハンドボール協会･TFA Company
トレーナー	飯田 純一郎	(公財)日本ハンドボール協会･J･フロントライン
分析	吉田 洋志	(公財)日本ハンドボール協会･仙台大学

位置	背番号	氏名	所属	出身校
GK	1	佐々木 亮輔	豊田合成	日本体育大学
PV	5	酒井 翔一郎	トヨタ紡織九州	大阪経済大学
LW	7	宮﨑 大輔	大崎電気	日本体育大学
CB	9	玉井 宏章	トヨタ自動車東日本	大阪体育大学
GK	12	木村 昌丈	大崎電気	日本体育大学
PV	13	笠原 謙哉	トヨタ車体	東海大学
PV	14	小賀野 龍也	湧永製薬	中央大学
LB	15	部井久 アダム 勇樹	博多高校	多々良中央中学校
GK	16	甲斐 昭人	トヨタ車体	日本体育大学
CB	17	植垣 健人	大崎電気	大阪体育大学
RB	18	成田 幸平	湧永製薬	大阪体育大学
RB	19	徳田 新之介	筑波大学	岩国工業高校
RW	20	渡部 仁	トヨタ車体	日本大学
LW	21	土井 レミイ 杏利	Chartres Métropol Handball 28(FRA)	日本体育大学
CB	24	信太 弘樹	大崎電気	日本体育大学
RW	25	元木 博紀	大崎電気	日本体育大学
PV	27	玉川 裕康	国士舘大学	浦和学院高校
LB	33	東江 雄斗	大同特殊鋼	早稲田大学
CB	44	門山 哲也	トヨタ車体	日本大学

参加報告 日本代表監督 ダグル・シグルドソン



写真提供：スポーツイベント社

It was recognizable that the team was not in the best shape, like in the summer camp when we played Korea at home, when we got to gather for the preparation in training camp in Poland end of December.

Some of the key-players had been, and some still are, injured (Kimura, Shida, Agarie) at the same time it was nice to play less experienced players like Adam and GK Sakai. Having Kimura injured gave also a big shock to us that we did not get Sakai from his University. We had a big problem in Poland against Bahrain and Belarus because of lack of time to make preparation and because of jetlag (playing only one day after landing and 3 days after playing in Japan with the club teams). Players mind did not make the chance of the attitude and tempo that is needed to compete on international level. At the same time it was nice to see young players step up and get valuable experience.

After a good training camp in Iceland, we had a nice new years party together at my house, my family and my team. After that we played against the Icelandic national team. First half we did not have a chance (making only 3 free-throws in all of the game), but from this point the team started to play a stronger game and show more character. Step by step the injured players started to get into better shape and be able to help the team. Especially in our game against Iceland B-team.

We went back to Japan for the final preparation and played a good game against Bahrain (but lost with one goal). Our performance was good, but we still have room to improve. We selected 17 players and

12月末にポーランドでアジア選手権に向けた準備のため集合した際のチームの状態は、昨夏日本国内で韓国と試合をした時のようなベストな状態ではありませんでした。

何人かのキープレーヤー（小室、信太、東江）は怪我からの回復直後、または怪我を抱えている状態でした。それは同時に、経験値が不足しているアダムやGKの坂井選手にとっては良い状況でもありました。

木村の怪我は大きなショックであり、さらに、坂井選手を招集することもできませんでした。

我々はポーランドにおけるバーレーン戦とベラルーシ戦で大きな問題を抱えました。試合に向けた準備の時間が不足していましたことや、時差ぼけの影響もありました。（現地に着いてから試合まで1日しかなかったこと。また、日本国内で開催された試合から3日後であったこと。）

選手たちのマインドは、国際大会で戦うために必要とされるテンポや姿勢ではありませんでした。

時を同じくして、若手選手の登用や彼らが貴重な経験を得る良い機会でもありました。

アイスランドでの合宿では、良い年越しパーティーを私の家で私の家族とともにチーム全員で行いました。

その後、アイスランド代表と試合をしました。

当初、我々はチャンスを得ることが出来ませんでした（1試合で3回のみのフリースロー獲得）。しかし、ここからチームは良いゲームが出来るようになり、また良い特徴も出てくるようになりました。

徐々に怪我を抱えていた選手たちのコンディションも上がり始めて、チームに貢献出来るようになってきました。

特に、アイスランドB代表との試合で顕著でした。

チームはアジア選手権に向けた最後の調整のために日本国内に戻り、バーレーン代表と好ゲームを展開しました（1点差で敗退）。

我々のパフォーマンスは良好でした。また、まだ向上する余地も残していました。

そして、17名の選手を選出し、韓国水原に乗り込みました。

went to AC in Suwon Korea:

Uzbekistan: In this game we could use all 16 players to give them game-time and find rhythm for the most important group game. It was an easy win.

Iran: Iran was in best condition with all members (7 players playing in European league) we must be honest and say that they were stronger than us in both defence and offence. Our fighting spirit was okay but we lacked in experience. This loss meant we were going into a group with the two strongest team in Asia last 6 years (Bahrain and Qatar) plus UAE.

Qatar: we played our best game, but only first half. We showed no fear and played very bravely but in the beginning we did not have the same concentration and gave in the end Qatar an easy win.

UAE: we played a very strong game from start to end. Having good fighting spirit and solid team performance. High tempo and strong defence. We won this game with very good team play. I was happy for the team showing such a positive performance. Good sign for our future work together.

Bahrain: This was now the most important game for us, like a final. We had a very good preparation because we already played against them in the competition and also

ウズベキスタン戦：このゲームでは16名の選手全員を投入することが出来、また、大切なグループリーグの試合に向けてリズムを掴むことが出来ました。試合には難なく勝利することができました。

イラン戦：イランはベストメンバーで大会に臨んできました（7名の選手は欧州リーグに参戦)。率直に彼らのオフェンスやディフェンスは我々より強かったと言えます。我々のファイティングスピリットは良好でした。しかし、経験が足りていませんでした。この敗戦は、次のグループ戦において、過去6年間アジアの中で2強と言われるバーレーンとカタール、そしてUAEと同じグループになることを意味していました。

カタール戦：我々にとってベストゲームを展開できました。しかし、前半のみです。我々は恐れることなしに果敢にプレーしました。しかし、後半開始直後から、前半と同様の集中力を保つことができず、カタールに勝利を与えてしましました。

UAE戦：ゲームの開始から終わりまでとても良いゲームが展開できました。

良いファイティングスピリットと堅実なチームパフォーマンスでした。ハイテンポかつ強固なディフェンスも見られました。チームはとても良いチームプレーでこの試合に勝利することができました。

私はこのようなポジティブなパフォーマンスを見ることが出来、とても嬉しかったです。我々の将来に向けて良いサインを示すことができたと思います。

バーレーン戦：この試合は我々にとって決勝戦のような重要なゲームでした。既に彼らとは日本やポーランドで試合をしてい

●イベント
・表彰
・記念式典
・各種セミナー
・各種パーティー
・国際会議

●業務渡航
・海外航空券手配
・海外ホテル手配
・査証手続き
・トラベルサポート

●教育・研修旅行
・修学旅行
・語学研修
・ホームステイ
・各種体験学習
・ゼミ・各種合宿

●団体旅行
・社員旅行
・インセンティブ旅行
・視察旅行・研修旅行・海外スポーツ遠征
・国内スポーツ合宿
・貸切バス・周年旅行

●訪日外国人旅行
・公官庁主催招聘プログラム手配
・訪日されるお客様に合わせたプラン

AMOK Enterprise co.,ltd.

株式会社 エモック・エンタープライズ
観光庁長官登録旅行業第1144号（一社）日本旅行業協会（JATA）正会員
●東京本社
〒105-0003 東京都港区西新橋1-19-3 第2双葉ビル2F3F TEL 03-3507-9777 FAX 03-3507-9771
●大阪支店
〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-8 タイリンビル7F TEL 06-6203-7999 FAX 06-6203-7991
http://amok.co.jp/

in Japan. Both teams knew each other very well, I know the coach also very well (Gudmundur Gudmundsson Icelandic friend who already won silver and gold at the Olympics, coaching Iceland and Denmark). We played a very strong first half (almost perfect) then inside of 10 minutes in the start of the second half we gave away our chance and Bahrain got into a comfortable situation. It was very disappointing and we must learn from this kind of mistakes.

Iran: Again against Iran and the same situation, strong first half but then a total blackout in beginning of second half. This meant that we are in 6th place. Of course a disappointing results after a hard year of work. I'm sorry for the team and all our staff and fans. But at the same time I'm also motivated to help the team get stronger and give them more experience to win this kind of games. We had some players playing their first big tournament so this was a big step.

I know we are on the right track and the team is getting stronger. Can't wait to see you at the play-offs, and then start again, preparation for the training games in Europe against Holland in April.

Your coach,
Dagur

ましたので、我々は大変良い準備をすることができていました。お互いに相手チームのことをよく知っていました。相手の監督のこともよく知っていました。(Gudmundur Gudmundsson氏、アイスランド人の親友です。オリンピックでアイスランド代表を率いて銀メダル、デンマーク代表で金メダルを獲得した監督です。)

前半はとても良い試合でした（殆ど完璧に近いゲーム運びでした)。そして、後半のスタート 10 分間で我々はチャンスを逃してしまい、バーレーンにとって好ましい状況になりました。それはとても残念でした。また、我々はこのような失敗から学ばなければいけません。

イラン戦：再度イラン代表と試合をすることになりました。そして、前回と同じような状況となりました。前半はとても良いゲームが展開できました。しかし、後半のスタートで我々はチャンスを逃しました。

この結果、我々は６位となりました。

もちろん、この結果は１年間苦労を重ねてきましたので残念な結果です。

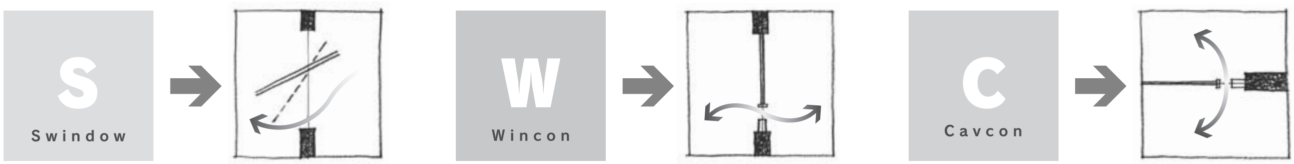
チーム、それからチームスタッフ、ファンの皆様に申し訳なく思います。

しかし、同じくして私は、勝利を目指すために、たくさんの経験を積み、さらにチームを強くしたいという前向きな気持ちでいます。

何人かの選手は初めての大きな国際試合の経験でした。そして、とても大きな一歩であったと感じます。

チームは正しい方向に進んでいます。そして強くなっています。早くプレーオフで皆さんに会いたいと思います。そして、４月にヨーロッパで行われるオランダ代表戦に向けた準備のため、もう一度チームはスタートします。

『呼吸する建築』　『ナビ ウインドウ 21』 NAV WINDOW 21



Swindow●スウィンドウ　Wincon●ウィンコン　Cavcon●キャブコン

三協立山株式会社 三協アルミ社 営業開発部
〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル18F　TEL(03)5348-0360 http://www.nav-window21.net/

参加報告

日本代表コーチ　舎利弗　学


写真提供：スポーツイベント社

大会結果については既にご存知のことと存じますが、世界選手権出場権獲得ならずという大変残念な結果に終ってしまい、大変申し訳なく思います。

以下、アジア選手権に向けて、2017年４月のチーム発足時より我々男子日本代表が取り組んだ或いは準備した内容についてご報告いたします。

強化合宿①
- 期間　2017年４月21日（金）～５月12日（金）（22日間）
- 場所　味の素ナショナルトレーニングセンター

強化合宿②
- 期間　2017年７月６日(木)～28日(金)(23日間)
- 場所　味の素ナショナルトレーニングセンター

日韓定期戦
- 期間　2017年７月29日（土）
- 場所　駒沢公園体育館

欧州遠征①
- 期間　2017年８月１日（火）～15日（火）（15日間）
- 場所　アイスランド

強化合宿③
- 期間　2017年11月27日（月）～29日（水）（３日間）
- 場所　味の素ナショナルトレーニングセンター

強化合宿④
- 期間　2017年12月４日(月)～６日(水)(３日間)
- 場所　味の素ナショナルトレーニングセンター

欧州遠征②
- 期間　2017年12月27日（水）～１月５日（金）（10日間）
- 場所　ポーランド・アイスランド

強化合宿⑤
- 期間　2017年１月８日(月)～12日(金)(５日間)
- 場所　味の素ナショナルトレーニングセンター

国際親善試合（対　バーレーン代表①）
- 期間　2017年１月13日（土）
- 場所　アリーナ立川立飛

国際親善試合（対　バーレーン代表②）
- 期間　2017年１月14日（日）
- 場所　味の素ナショナルトレーニングセンター

- 国内合宿　56日間
- 国外合宿　25日間
- 国際親善試合　14試合（国際Ａマッチ６試合、対クラブチーム７試合、その他１試合）

所　感

2017年４月から始動した「男子日本代表」は、アジア選手権まで計81日間（国内合宿56日間、国外合宿25日間)、国際親善試合14試合（国際Ａマッチ６試合、対クラブチーム７試合、その他１試合）にわたり強化を進めてまいりましたが、アジア選手権において６位となり、世界選手権出場権獲得・アジア王者奪還に向けた挑戦は終了しました。

これまで日本代表の活動にご支援・ご協力頂き誠に有難うございました。皆さんの期待に応えられなかった事、大変残念でなりません。

もちろんチームや選手個々のパフォーマンスについては課題も残りましたが、若手選手の台頭など未来に向けて収穫の多い大会でもありました。また､選手個々の能力や技術戦術において他国に大きく遅れをとっていることはなく、継続的な強化と大会に臨むための万全の準備さえ出来れば次回以降今大会の遅れは必ず挽回できるものと信じております。

最後に、大会期間中、横断幕持参で現地にて熱心に声援を送っていただいたファンの皆様、日本において我々日本代表を応援してくださった皆様、各チームの活動予定を調整していただき選手を快く派遣していただいた所属チームの関係者の皆様、大会まで様々な場面で日本代表をサポートしていただいたスポンサーの皆様、また、日本代表活動をご支援いただいた関係する全ての皆様にこの誌面をお借りして御礼申し上げます。

取り急ぎ甚だ簡単ではありますが、以上今大会のご報告とさせて頂きます。

大変お世話になりました。有難うございました。

1月18日(木)
予選ラウンド

日本　38(19－12、19－15)27　ウズベキスタン

いよいよ開幕した第 18 回アジア選手権。ベスト 4 以上で来年の世界選手権（ドイツ・デンマーク）出場となる今大会。日本の初戦は中央アジアのウズベキスタンとなった。前半出だしから試合をコントロールし、信太、土井、元木らでテンポよく得点を重ねていく。対するウズベキスタンも突破力ある 1 対 1 から右バックの左腕エース・クサンバエフにボールを集めて反撃を試みる。初戦ということもあり、両チームともプレーに若干固さがみられたが、前半を 19 対 12 と日本 7 点リードで折り返す。

後半に入ると、次戦を視野に入れたメンバーチェンジを行う。そこで日本の若き左バック・部井久が躍動する。チームプレーで作り出した広いスペースに迷いなく走り込み、豪快なシュートを立て続けに叩き込む。さらに好調だったのがベテラン・宮﨑。ポジションチェンジからバックコートに進出すると、効果的な 1 対 1 やステップシュートで相手を翻弄した。守っては渡部のアグレッシブなボディコンタクト、GK 甲斐、佐々木らでディフェンスラインを統率し、38 対 27 と快勝した。しかし、セットディフェンスの精度・強度をあと少し上げたいのも事実である。相手の「戦術的ではない、強引な突破」に対するディフェンスプレーの甘さも見られた。次のイラン戦は精神的、身体的に非常に厳しい戦いになると思われる。オフェンスでは「Play Together」、ディフェンスでは「Fight Together」を徹底して勝利を手にしたい。

1月20日(土)
予選ラウンド

日本　32(14－19、18－18)37　イラン

予選リーグ 1 位通過か 2 位通過、どちらに回るかを決める重要な一戦は中東の強豪、イランが相手。事前のミーティングでは相手の高さのある攻守に対し、「激しい接触、スピードある突破」で打開していくことを確認した。しかし、日本は出だしから 4 連続失点とイランにペースを握られる展開となる。それでも信太、宮﨑の突破、この日絶好調の徳田らで応戦するも 14 対 19 で前半終了。

後半、日本は攻撃で広いスペースを作り出し、徳田にボールを集めて加点していく。そこから生まれる次のスペースへ渡部、土井らウイング陣が走りこむ理想的な展開で一進一退のゲーム様相となる。ここから相手の焦りを引き出したい日本だったが、ディフェンスラインを切り崩され、失点が止まらず 32 対 37 で試合終了。メインラウンドはカタール、UAE、バーレーンと同組に回ることとなった。次戦以降、1 日 1 試合の 3 連戦となるので精神的、身体的に非常に厳しい戦いになると思われる。コンディションをキープしつつ、チームの約束事を徹底して勝利を手にしたい。



新刊
ハンドボールスキルアップシリーズ
目からウロコのDF戦術
スポーツイベント・ハンドボール編集部 編著
B5判　144ページ　1,800円+税　発行元 グローバル教育出版
ハンドボールに欠かすことのできないDF。そのDFについて、1対1の守り方から始まり、チームとしての守り方まで、日本を代表する指導者が解説しています。また、DFシステムについても詳細に紹介。「DF」ならこの1冊にお任せください。

既刊


目からウロコの個人技術
1,800円+税

株式会社スポーツイベント 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-4-2 TEL:03-3253-5941 FAX:03-3253-5948

1月22日(月)
メインラウンド

日本　23(9−19、14−21)40　カタール

　メインラウンド初戦はアジア No.1 の実力を誇るカタールとの一戦。日本はベンチインのメンバーを変更して試合に臨んだ。酒井に代わり小賀野を登録し、守備の選択肢を増やした日本。開始早々に失点を許すも土井、渡部の両ウイング陣がシュートを叩き込み 2 連取と上々の滑り出し。その後カタールは破壊力抜群の攻撃を展開するが、日本も負けじと反撃する。信太の 3 連打、東江の連打で前半 13 分 7 対 8 と互角のゲームを展開する。ギアを上げて得意の速攻に持ち込みたい日本だったが、ここから失速してしまう。カタールは攻撃の狙いを 6m ライン付近へ徹底する。日本のディフェンス陣をバックプレーヤーに引き付けた後、ピボットにボールを散らして弱点を突く攻撃を展開。ここをしのぎたかった日本だが立て続けにシュートを叩き込まれると、嫌なムードが攻撃にも伝染。ミスからのターンオーバーで次々とノーマークシュートを浴び、4 連続失点 2 回、3 連続失点 1 回と一気にリードを許す。なんとか打開策を見出したい日本だが、その後も 8 分間ノーゴールと厳しい状況へ追い込まれ 9 対 19 で前半終了。

「戦術よりも戦う姿勢」そんな言葉がロッカールームに響いた後、10 点差を追う日本の後半戦が始まった。出だしからフットワーク良く相手のオフェンスをはじき返してターンオーバーを量産。徳田、成田、玉川、渡部らが立て続けにゴールを決めて、2 連取 2 回と追い上げムードに。すかさずカタールはセーフティファーストでタイムアウトを要求。日本は良い流れを何とか維持したかったが、落着きを取り戻したカタールに再びゲームを支配される。23 対 40 と大差はついたが、試合終了のホイッスルが鳴った瞬間から次の UAE 戦へ向けての準備はすでに始まっている。

1月23日(火)
メインラウンド

日本　27(14−9、13−11)20　UAE

　メインラウンド 2 戦目は中東の UAE が相手。勝てばファイナル 4（準決勝）進出へ大きく近づく重要な試合。若干セットオフェンスで固さがみられた日本だが、3 分過ぎたあたりで主砲・信太がエンジン全開。ロング、ミドル、カットインと UAE のディフェンスを切り裂き、4 連取を 2 回と猛攻を仕掛ける。UAE はタイムアウトを要求し、日本のバックコート陣の走り込みとパスワークを分断しにかかる。走りこんだ 1 対 1 を封じられた日本のオフェンスは後手に回り、得点が伸び悩むも、GK 甲斐を中心としたディフェンスが踏ん張り、簡単には失点しない。そのまま点を取りあい前半を 14 対 9 と 5 点リードで折り返す。

　後半も日本の勢いは止まらず、この試合ラッキーボーイの信太、東江で一気に 3 連取と抜け出す。10 分過ぎに日本ベンチは門山をセンターバックに投入。攻撃のテンポを変えて、主導権を握ったまま試合を進める。16 分過ぎには 23 対 14 と 9 点差がついたところで、元木をライトウイング、部井久をライトバックへ投入、このベンチワークが功を奏し、「試合を決めるなら今」と言わんばかりに集中力を高めた日本は元木、渡部らがボールにからんで連取して一気にスパート。後半 22 分、25 対 16 と試合を決めた。最終的に 27 対 20 と 7 点差をつけて快勝。勝ち点を 2 に伸ばした。



1月24日(水)
メインラウンド

日本　21(13−13、8−16)29　バーレーン

準決勝進出か、5-6 位決定戦か、どちらに回るかを決める運命の一戦は今季既に何度も対戦しているバーレーンとの対戦となった。お互い手の内を知り尽くした同士の対決は「勝った方が世界選手権出場」となる厳しい対戦。日本はミーティングで激しい接触、スピードある突破で相手を打開することを確認した。試合開始から、GK 甲斐を中心にディフェンスで今大会で最高のクオリティを発揮した日本は、相手の攻撃の芽を完璧に潰して速攻に持ち込む。渡部、成田らで 3 連取し、開始 5 分過ぎに 4 対 2 とゲームの主導権を握る。攻めては司令塔・東江がテンポよく得点を稼ぐが、バーレーンもアブドゥルの強烈なシュートで応戦、13 対 13 で前半を折り返す。

後半 5 分過ぎまでは両者互角の展開、精神的なダメージの大きいタフな試合展開となる。このままジリジリと消耗戦にもつれ込むかと思われたが、8 分過ぎからバーレーンがアブドゥルの 3 連打を含む怒涛の 5 連取で一気に加速。日本も渡部の連取で喰らい付くも、再びバーレーンに 3 連取され、後半 17 分 17 対 24 と 7 点ビハインドとなる。何とか奮起したい日本は、キーマン・アルサヤドにマンツーマンを仕掛けたり、GK 佐々木を投入、相手の焦りを引き出そうと試みるが、そこまでは至らず 21 対 29 で試合終了、5-6 位決定戦に回ることとなった。あと一歩のところで世界選手権への道は断たれた。

1月26日(金)
5-6位決定戦

日本　28(15−15、13−18)33　イラン

5 位か 6 位か、予選ラウンドでも当たったイランが相手。日本はミーティングで「勝ちに行く姿勢」を確認し試合に臨んだ。出だしからエンジン全開の日本は、元木、笠原で連取すると GK 甲斐の好セーブもあり、前半 8 分過ぎには信太、玉川、元木で怒涛の 3 連取。その後もリードする展開で前半 11 分 8 対 4 と試合の主導権を握る。しかし、イランも負けじと攻守の立て直しを図り、一気に 4 連取し 17 分過ぎに 10 対 9 と試合をひっくり返す。そこから試合は流れが傾いた方が一気に連取を繰り返す異様な雰囲気となる。両者譲らず結局 15 対 15 で折り返した。

後半の出だしも互角の展開。しかし日本はここから連取できず苦しい展開となる。ここぞとばかりにイランが猛攻をしかける。後半 4 分から 20 分の 16 分間で 3 連取 3 回、4 連取 1 回と怒涛の攻撃。日本は、植垣らを中心に反撃を試みるも連取ができずにじりじりと後退。終盤に渡部が気を吐くも 28 対 33 で敗戦、6 位で大会を終えた。非常に残念な結果となってしまったが、この結果を真摯に受け止め、成果と課題を洗い出し、次なる目標を定めて強化活動を行っていきたい。

OSAKI



mind
豊かな明日を切り開く、大崎マインド。

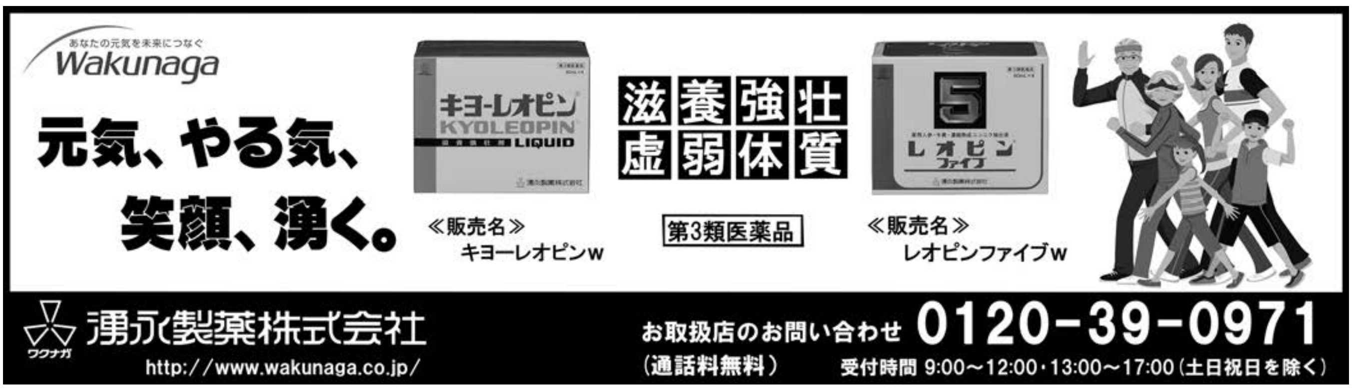
限られた資源だから、有意義に使っていきたい。
命あるものたちが共存する地球だから、
快適な環境を守っていきたい。
計測・制御の専門メーカーとして時代をリードする大崎は、
ユニークな発想と探究心で省エネ、省力化機器など、
つねに技術革新をこころがけています。

大崎電気工業株式会社
本社　〒141-8646　東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア　TEL.(03)3443-7171(代表)

ECOLOGY

男子アジア選手権　過去の大会成績

回	会期	会場	備考	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位
1	1977/03/26-4/4	クウェート		日本	韓国	中国	クウェート	イラク	バーレーン	パレスチナ	サウジアラビア	UAE					
2	1979/11/01-11	中国・南京		日本	中国	クウェート	パレスチナ	インド									
3	1983/09/25-10/01	韓国・ソウル		韓国	日本	クウェート	バーレーン	サウジアラビア	カタール	ヨルダン	ホンコン						
4	1987/08/20-09/01	ヨルダン		韓国	日本	クウェート	中国	バーレーン	カタール	タイペイ	シリア	ヨルダン	パレスチナ	ネパール			
5	1989/08/20-30	中国・北京		韓国	日本	クウェート	中国	サウジアラビア	カタール	タイペイ	イラン	ホンコン					
6	1991/08/22-09/01	日本・広島		韓国	日本	中国	カタール	バーレーン	UAE	タイペイ	クウェート	北朝鮮	サウジアラビア	イラン	シリア		
7	1993/09/24-10/05	バーレーン		韓国	クウェート	日本	サウジアラビア	中国	バーレーン	カタール	UAE	イラン	タイペイ	北朝鮮	シリア		
8	1995/09/25-10/06	クウェート	五輪予選	クウェート	韓国	バーレーン	日本	中国	UAE	タイペイ	カザフスタン	インド					
9	2000/01/24-30	日本・熊本	五輪予選	韓国	中国	日本	タイペイ	イラン									
10	2002/02/10-20	イラン	WC予選	クウェート	カタール	サウジアラビア	韓国	イラン	日本	バーレーン							
11	2004/02/10-22	カタール ドーハ	WC予選	クウェート	日本	カタール	バーレーン	サウジアラビア	UAE	イラン	ヨルダン	オマーン					
12	2006/02/12-21	タイ・バンコク	WC予選	クウェート	韓国	カタール	イラン	日本	バーレーン	ヨルダン	中国	タイ					
13	2008/02/17-26	イラン イスファファン	WC予選	韓国	クウェート	サウジアラビア	イラン	カタール	日本	中国	UAE	レバノン	バーレーン				
14	2010/02/06-19	レバノン ベイルート	WC予選	韓国	バーレーン	日本	サウジアラビア	カタール	シリア	イラン	レバノン	中国	イラク	UAE	ヨルダン		
15	2012/01/26-02/05	サウジアラビア ジェッダ	WC予選	韓国	カタール	サウジアラビア	日本	イラン	バーレーン	UAE	クウェート	ヨルダン	ウズベキスタン				
16	2014/01/25-02/06	バーレーン マナーマ	WC予選	カタール	バーレーン	イラン	UAE	韓国	サウジアラビア	クウェート	オマーン	日本	イラク	中国	ウズベキスタン		
17	2016/1/15-28	バーレーン マナーマ	WC予選	カタール	バーレーン	日本	サウジアラビア	イラン	韓国	UAE	オマーン	中国	レバノン	シリア			
18	2018/1/18-28	韓国・水原	WC予選	カタール	バーレーン	韓国	サウジアラビア	イラン	日本	UAE	オマーン	中国	ウズベキスタン	オーストラリア	インド	バングラディッシュ	ニュージーランド



molten
For the real game

molten For the real game
Official Partner of IHF

国際ハンドボール連盟 公式試合球

IHF OFFICIAL GAME BALL



[3号球] 品番 **H3X5001-BW ¥8,400(本体価格)+消費税**
[2号球] 品番 **H2X5001-BW ¥8,200(本体価格)+消費税**
国際公認球 検定球 人工皮革 縫い ブルー×ホワイト ラテックスチューブ

www.molten.co.jp



アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。
本体価格は消費税抜きのメーカー希望小売価格です。 ■商品についてのお問い合わせ先：アシックスジャパン株式会社お客様相談室 0120-068-806 ■当社ホームページ asics.com からもお問い合わせをしていただけます。

A級(全日本大会)審判員の目標

全日本大会の審判員を担当することができるのはＢ級，Ａ級の審判員である。その中で特にＡ級審判員は各都道府県・ブロックにおいても模範として，試合において立ち居振る舞いはもちろんのこと，事実を正しく見極め，的確な判定を下し，TDやオフィシャル，チームとの連携をとりながら試合を円滑に進めることが求められる。ハンドボール競技の特徴を理解した上で，試合の流れやプレーの展開の予期・予測による観察と瞬時の判断力の向上が求められる。

以下に（公財）日本ハンドボール協会審判委員会作成の「レフェリー評価表」をもとに，Ａ級審判員として追求したいレフェリーの姿とそのポイントを明記しＡ級（全日本大会）審判員の目標とする。

評価項目		評価の着眼点	指導のポイント
(1)ゲーム管理	レフェリーとしての要素・全体的印象	試合に関する的確な態度であるか。 タイミングが遅れた介入でゲームを見失ってはいないか。	○競技開始前の準備 ○リーダーシップ
	振る舞い・コミュニケーション	不自然な，不安定な態度ではないか。 集中力を欠いているような仕草が見えないか。チーム役員・プレーヤー・オフィシャルに対する態度（怒らせる・失礼である・傲慢である・親切すぎる）。 ベンチ管理（交代プレーヤー・チーム役員）。	○丁寧な指示と運営 ○TD，オフィシャルとの連携 ○チーム役員，選手との関係作り
	チームとの関係・平等であるか	試合に関する感情。公平な態度であるか。 一方のチーム役員やプレーヤーと接触していないか。 弁解や妥協しがちではないか。 ヤジとか批判に簡単に影響されていないか。	○コミュニケーションのバランス ○放置しない毅然とした対応
(2)連携	チームワーク（オフィシャルを含めて）	誰が見ても分かるようにパートナー・オフィシャルとの協力ができているか。	○目に見えるコンタクトの雰囲気
	ペアで均一な判定	１人のレフェリーが支配したり，されたりしていないか。	○領域分担と判定者が一致しているか
	領域分担	パートナーの責任範囲を侵していないか。侵していることに気づいているか。	
(3)ゲームの観察	レベルに応じた基準	プレーヤーの発達段階を考慮し，ゲームの流れを理解しているか。ゲームの流れに反した判定をしていないか。	○レベルに応じて運用するがルールを変えてはならない
	アドバンテージ・不必要な笛 発展性のないプレーの見極め 笛のタイミング	明らかな得点チャンスでのアドバンテージを見ているか。アドバンテージ後の罰則を与えているか。ルール違反のアドバンテージを与えていないか。不要な笛でプレーを止めていないか。発展性のないプレーの見極めと，笛のタイミングは適切か。	○３歩，３秒の保障 ○不必要な笛を減らす ○発展性のないプレーの見極め ○２重のアドバンテージを与えない ○笛のタイミング
(4)１対１の局面	罰則	許容範囲のハードプレーとアンフェアーなラフプレーの区別ができているか。 第８条に一致しない罰則を与えていないか。 スポーツマンシップに反する行為の見極めは妥当か。	○即座に２分間退場とすべきプレーを適切に見極めている ○試合開始直後からの準備 ○競技終了30秒間の集中力
	チームに基準が理解されているか	罰則がよいバランスで判定されているか	○判定の後のジェスチャー ○プレーヤーへの基準の伝え方
	ハリウッドアクションの見極め	ハリウッドアクションを見抜き，適切な処置ができているか。	○大きな声，影響と倒れ方の関係 ○心の準備
(5)攻撃側の違反	ボールを持ったプレーヤーの違反	違反を見逃していないか，探していないか。 正しい防御活動を認めているか。	○攻撃有利のフリースロー判定が多くないか
	ボールを持たないプレーヤーの違反		○ゴールレフェリーがボールばかり追っていないか
	正しいブロック／不正なブロック		○接触・違反のスタートの見極め

(6)7mスロー	明らかな得点チャンスの見極め	適切に７mスローを与えているか。 明らかな得点チャンスではないものに７mスローを与えていないか。 GK 不在の状況での明らかな得点チャンスの見極め	○防御側プレーヤーの位置観察ができているか
	ゴールエリア侵入と影響の見極め		○押し込まれてのエリア侵入を見極めているか
	ボールを所持していない明らかなチャンス		○違反がなければ明らかな得点チャンスになるプレーへの心の準備
(7)違反	ステップ・イリーガルドリブル・オーバータイム	正しく判定しているか。 違反とミスの見極め。	○ステップ２歩＋２歩の見極め ○ステップを誘発させる防御行為の見極め
	足を使った違反		○足を使った行為について適切に処置
	各種スローの判定と適切な実施		○ポイントの指示 ○正しいスローをしたか ○防御側プレーヤーの位置 ○修正後の再開の笛
(8)時間の管理	パッシブプレーの予告合図のタイミング	予告合図のタイミングは適切か。	○選手交代，各種スローの実施の遅延に伴う予告合図 ○退場者がいる場合
	パッシブプレーの判定	違反の判定のタイミングは適切か。	○ボールを持ったプレーヤーがゴールに向かっている状況で違反の笛を吹かない
	タイムアウト	ルールに則って両チームに平等に与えているか。 与えすぎていないか。 タイミングが遅すぎていないか。	○タイムアウトを取らなければならない場面で適切に対処できているか ○競技時間の短縮を工夫しているか
(9)動き	動きと位置取り	２人の死角はないか。 プレーヤー・ボールから目を離してはいないか。サイドチェンジのタイミングは適切か。	○防御形態に応じた領域分担が臨機応変 ○レフェリーの基本走法
位置取り	明確なジェスチャー・笛の音	ルールブックにないジェスチャー，はっきりしないジェスチャーを用いていないか。 最初に方向指示をしているか。 笛の音は適切か（強弱，長短，軟硬の使い分け）	○罰則，７mスロー判定の後 ○笛の音色で判定の種類がわかる
ジェスチャー	体力・走力	レフェリングをするにあたり，十分な体力を有しているか。	○コート上でのウォーミングアップ ○後半でも走力が維持できる



毎日、行きたくなる。わざわざ行きたくなる。

LECT

レクト 検索 または lect.izumi.jp

［ＬＥＣＴ］ 広島市西区扇二丁目１番４５号

株式会社イズミ http://www.izumi.co.jp
本社/〒732−8555 広島市東区二葉の里三丁目3番1号 TEL(082)264−3211(代)

B 級審判員の目標

B 級審判員より全日本大会への参加資格が与えられる。国内のトップチームの試合を担当するためには、競技規則に従って試合を運営すること、および試合を運営するための基本となる技術を習得することが必須である。

以下に B 級審判員が習得すべき事項について記載する。コート上で 1 人のレフェリーが主導権を握るレフェリーシステムは，ハンドボール競技には適さない。パートナーと常に連携と相互理解を図り，両レフェリーは様々な状況に関する考え方が一致していなければならない。レフェリーの任務も正しく分担されなければならない。

<試合前>

1） トスには指定された時間に両レフェリー、TD が立ち会う。メンバー表、登録証の確認を確実に行う。また , 公式記録用紙に正しく記載されているかどうか確認する。

2） ユニホームの確認は，必ず TD と協力し行う。判別し難いものは着用させない。レフェリーウエアも判別し難い色は着用しない。相手コートプレーヤーの色とチーム役員の色とが　重複しないように呼びかける。また、プレーヤーの装具についても規定にあっているかどうか、TD と協力し、観察しておく。

3） ゴールやゴールネット、ボールなどの点検は前もって（選手紹介や選手の確認の前）行い競技開始直前に行わない。

4） オフィシャル席の仕事を理解し，シンプルかつ分かりやすく各種の合図をする。試合開始前に必ずオフィシャル席と業務の確認、および機器の操作の確認を行うこと。

<試合開始時>

5） 競技の開始時刻を守る。（早く始めない）早めに選手紹介等が終了したとしても , 開始時刻が定刻となるように TD, 両チーム役員に開始までの時間を明確に伝える。

<試合中>

○得点の管理　時間の管理

6） 得点の管理は掲示板が正しく表記されているかどうか得点のたびに厳密に行う。着地シュート等紛らわしい場合 , 得点が誤って追加されていないか確認する。

また，時間の管理（タイムアウト）は 1 試合を通して同一の基準で，公平かつ平等に競技規則に則って処理する。どちらか一方のレフェリーが公示時計を必ず目視し動作確認をする。

○走法と位置取り

7） コート内のプレーヤーとボールから決して目を離さない。

8） 得点合図の後，決して 2 人の位置を交代しない。

9） バックステップ走法は動きが遅く，非常に危険を伴うため用いない。

10） 走りながら，あるいはプレーヤーに背を向けて方向指示やジェスチャーをしない。判定の後その直後の選手 , ボールの動きを必ず確認し , 次の行動へ移る。

11） ゴールレフェリーは，コート内に立たないことを基本とし，展開に応じて前後左右に移動する。

12） 7m スローの際，コートレフェリーはスローするプレーヤーの利き腕側に立つ。

13） CP 7 名の状況で、GK と CP の交代の妨げにならないような位置取りを。

○判定の手順　ジェスチャー

14） 判定の手順を守る。①笛　②方向指示〔再開方法〕③（必要に応じ）ジェスチャー

15） 正しいジェスチャーを用い，余計なレフェリーのアクションやコミカルな動作は慎む。

○立ち居振る舞い

16） 2 人のレフェリーは，同じ種類の笛を使用する。長い時間，笛を口に入れたままにならないよう気を付ける。笛を口に入れたままで , プレーを観察することがないように。

17） コート上で腕組み，両手を腰に当てる，ポケットに手を入れる，休めの姿勢など論外。

18） 警告・退場・7 m スローを判定したときには , その理由は何かを皆にわかるように大きく 1 回ジェスチャーする。

○役割分担

19） コートレフェリーは，7 m スローを判定しない。

20） コートレフェリーは，ゴールエリアへの侵入（ラインクロス）を判定しない。

21） 領域分担を明確にし、ペアのレフェリーの近くで起こっているプレーに対して，遠い位置から判定をしない。

○競技規則の正しい運用

22） 警告には，原則としてタイムアウトは必要ない。

23） 退場を判定するときは，①タイムアウト　②ジェスチャー 14

24） 指し違えたときは，必ずタイムアウトをとり 2 人で協議する。

<試合終了後>

25） 公式記録用紙に正しく記入されているかどうか確認する。